

旧町広報の歴史

旧那賀川町 広報 なかがわ

430号

平成18(2006)年3月発行



従来の公民館報から町の行政広報紙として、昭和43(1968)年5月に生まれ変わりました。町の情報だけでなく、暮らしに役立つ知識など、町民に寄り添った広報紙として、情報を発信してきました。最終号では、「ナカちゃんの絵コンクール」の結果発表の特集を掲載。当時の広報担当者は、「地域間の交流が活発化することを期待しつつ、那賀川町地域の再スタートにいたしましょう」と編集後記でつづり、約38年間の「広報なかがわ」の歴史に幕を閉じました。

旧羽ノ浦町 広報 リフレッシュ羽ノ浦

148号

平成18(2006)年3月発行



町が企画と編集を手がけた広報が、平成元(1989)年6月に創刊されました。創刊号の表紙は、町制70周年を記念して、羽ノ浦中学校の生徒が、校庭に巨大な文字を表現する「人文字」に取り組んだようすを掲載。また、表題の「リフレッシュ」という言葉には、町民とともに活力ある町づくりをめざすという思いが込められています。148号となる最終号は「優待号」と題し、新阿南市への町民の思いや広報の歩みなどを掲載しました。

は、町民とともに活力ある町づくりをめざすという思いが込められています。148号となる最終号は「優待号」と題し、新阿南市への町民の思いや広報の歩みなどを掲載しました。



特集 創刊700号記念

おかげさまで創刊700号を迎えました。

市民の皆さまとともに歩んだ58年間

阿南市として新たな一歩を踏み出して1カ月が経過した昭和33(1958)年6月に、「広報あなん」の歴史は始まりました。「阿南広報特集」と題した創刊号から数えて、今月号で700号。市民の皆さまのご協力のもと、この記念すべき節目を迎えることができました。

伝えてきたもの

「広報あなん」は、半世紀以上の長きにわたり、市行政のお知らせや出来事、地域の話題などさまざまな情報をお届けしてきました。市の発足以来、工業地域として開発が進み、大型施設が完成し、時には大きな災害に見舞われるなど、その時代の市のように反映してきました。

そのほか、特集記事を掲載し、市民の興味を引く内容やレイアウトで親しみのある広報紙づくりをめざしてきました。

変わらないもの

現在の表紙は「広報あなん」ですが、創刊当初は「阿波阿南広報」として発行されてきました。紙面の大きさやレイアウトなども、より見やすさを検討し、随時変化してきましたが、いつの時代も「伝えたい」「市民の皆さまと行政をつなぐ架け橋でありたい」という思いは変わりません。

これからも、この思いを大切に「広報あなん」をお届けしてまいりますので、よろしく願います。

特集 創刊700号記念

特集記事で振り返る
広報あなんの歩み

平成26(2014)年7月発行



生誕8カ月を迎えたあななんの人気の秘密に迫る。生みの親へのインタビューなども掲載。

こんな記事も!

主要施設が建設されるなど、市が発展するようすを切り取った。



(左上)平成13(2001)年5月発行、
(左下)同年9月発行、
(右)平成14(2002)年10月発行

こんな記事も!

農作業を快適にするため、関係者の協力のもと作り方とともに工夫例を紹介。



(左から)昭和50(1975)年12月発行、
昭和51(1976)年2月発行

693号

672号

573号

366号

174号

23号

創刊号

平成28(2016)年4月発行



合併10周年を記念し、市の主な施策や10年間の主要な出来事をまとめた年表を掲載。

こんな記事も!

阿南の方言を特集。成り立ちや特徴などを会話実例とともに掲載。



平成21(2009)年7月発行

平成18(2006)年4月発行



タブロイド版で発行した最後の広報。阿南市・那賀川町・羽ノ浦町合併記念式典のようすを特集。

昭和64(1989)年1月発行



1月の特集企画「〇〇どし登場」。年男女の市民の皆さんが語る、新年の抱負や夢を16年間にわたって掲載。366号以降は「市長と新成人との新春座談会」に変更し、現在も掲載中。

昭和48(1973)年1月発行



昭和35(1960)年6月発行



太平洋沿岸一帯を襲ったチリ地震による市内の津波被害状況を掲載。

昭和33(1958)年6月発行



市長就任のあいさつをはじめ、市議会議員や市役所機構などを紹介。



平成28年4月の「広報編集室の小窓」の記事。たくさんの「いいね!」を頂き、ありがとうございます。

市ホームページ
<http://www.city.anan.tokushima.jp/>
※バナー「広報編集室の小窓」をクリック

市フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/city.anan>

阿南市の旬な情報をいち早くお届け!
広報紙は月に1回の発行で、掲載枠にも限りがあります。しかし、情報は次々と更新され、その数も広報に掲載しきれないほどあるのが実情です。そこで、これらの情報を可能な限り早くお届けするため、市ホームページとフェイスブックページを活用しています。広報担当者が取材などによって得た情報を、い

ち早く発信しているのがホームページ内の「広報編集室の小窓」。また、小窓と同じ記事を、市のフェイスブックページにも投稿しています。平成26年7月に開設したページですが、「いいね!」が1000件を越え、多くの方に見ていただいています。今後も、市の旬な情報をいち早く更新していきますので、ぜひご覧ください。

さまざまな広報のカタチ

ホームページ
フェイスブック



目の不自由な方へ
広報を届ける



「ふきのとう」の皆さん。この日は、CDやテープの編集日ということもあり、机にはたくさんの機材が。

「声の大きさも速さもちよどよよかっただよ」 「こんな工夫をしている」 など、感想や情報の共有を欠かしません。「大変な作業も全て含めて、楽しみながらみんなで作ってお届けしています」と皆さんは笑みをこぼします。
これからも、「ふきのとう」の皆さんとともに「広報あなん」を市民の皆さまへ発信しつづけます。

「声の広報」とは、目の不自由な方へ「広報あなん」をお届けするため、すべての内容を声で吹き込んでCDやカセットテープに収録したもの。「音訳ボランティアグループ」の皆さんによって制作されたCDやテープは、市社会福祉協議会を通して必要な人たちに送付されています。また、市内の図書館でCD

の貸出も行っており、羽ノ浦図書館では館内で聴くこともできます。
毎月の作業は、広報担当者と読み合わせを行い、文章表現などの確認から始まります。その後、収録、編集、複製を経て完成。その過程では、各自で収録したものを一つにまとめるため、声の大きさや読む速さを均一にするなどの工夫や注意が求められます。このため、メンバーが集まるときは、

もうひとつの広報

声の広報



音訳ボランティアグループ
ふきのとう